

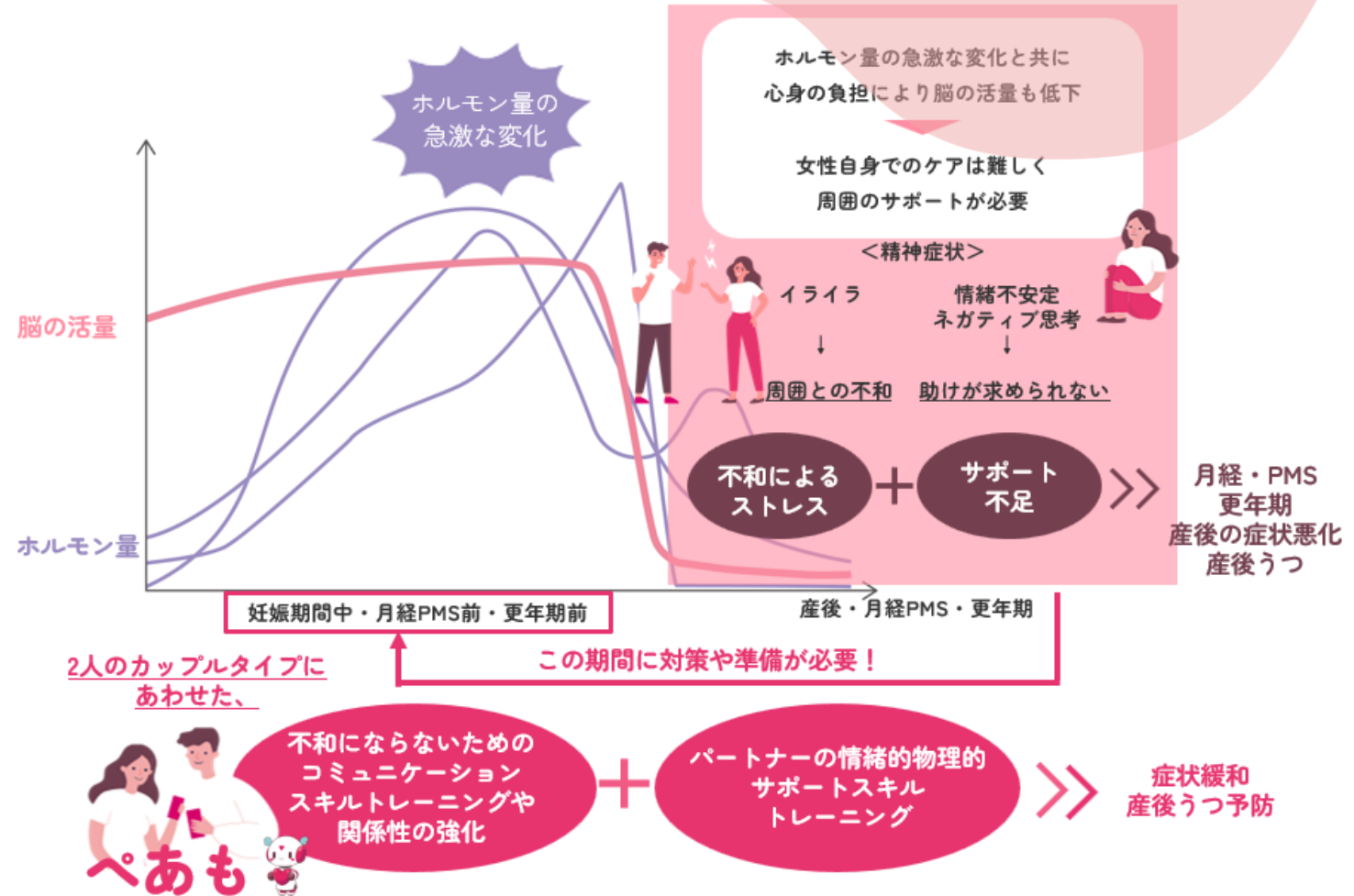
株式会社きゅあも

夫婦・パートナー間の関係強化およびコミュニケーション／
情緒的・物理的サポートスキルトレーニングサービス「ぺあも」を用いた、
女性のウェルビーイング・パフォーマンス向上の実証事業



事業の目的

ホルモンバランスが大きく変化する
月経・PMS、産後、更年期前に女性が、
身近に介入ができるパートナーと一緒に
関係強化およびコミュニケーション
情緒的・物理的サポートスキルトレーニング
サービス「ぺあも」を使用することで、
女性のウェルビーイング・パフォーマンス
向上の効果があるか検証を行う。



ぺあもサービス紹介



ぺあもは、女性がパートナーと一緒に自分たちの夫婦・カップルタイプや状況に合わせた、専門医の科学的根拠に基づいた関係強化及びコミュニケーション／情緒的物理的サポートスキル／産後、月経・PMS、更年期のリテラシーをLINE上でキャラクターと会話をしながら双方向なトレーニングができるサービスです。また、定期的に専門スタッフがLINE通話での面談を行いスキル習得や継続をサポートします。

キャラクターとゲームを
しながらスキル習得

LINE通話による面談

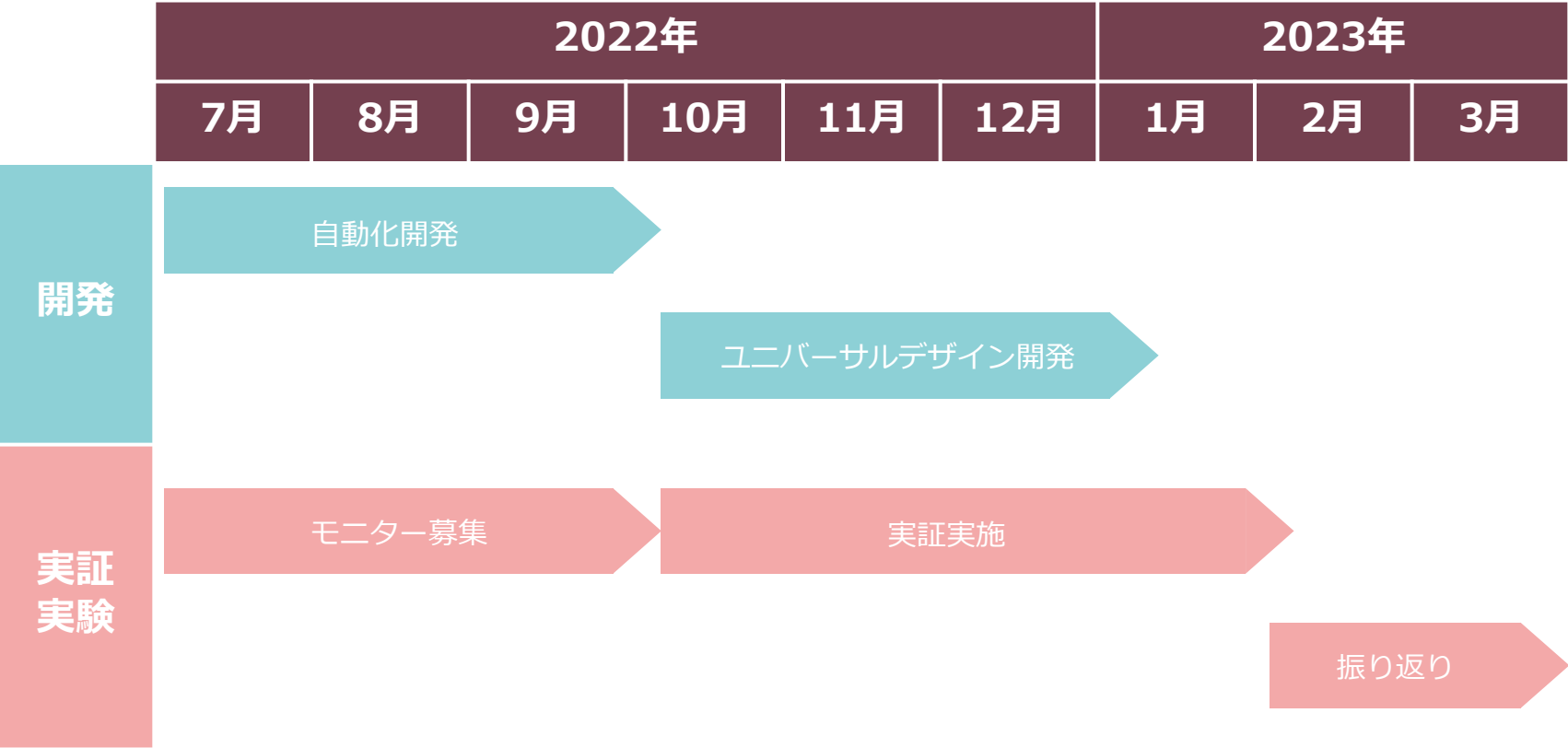
性格分析や喧嘩分析の判定結果
この結果に合わせて2人に合った
プログラムが開始される

教材冊子。プログラムがすべて完了すると
2人の取り扱い説明書が完成する



スケジュール

効率化を図るため、9月末までプログラム自動化の開発を行い、10月よりモニター検証を開始。



実施項目一開発一

- ① プログラムの自動化開発。今まで、プログラムを手動で送信しユーザーとやり取りをしていたが、自動化することで、24時間トレーニングすることが可能に。
- ② プログラムで使用し、プログラム後も振り返りとして使用できる冊子の作成。

①LINEでプログラムが
24時間受講可能に



②プログラムがすべて完了すると
2人の取り扱い説明書が完成する



実施項目—実証実験概要—

今後のビジネスモデルとしては、妊婦・パートナーを対象とした場合は産婦人科や自治体、個人働く女性とそのパートナーを対象とした場合は企業や個人への販売を考えています。

今回の実証実験では、産婦人科向けと企業向けの2つの切り口で効果検証を行いました。



ぺあも

妊婦とそのパートナー

産婦人科／自治体／個人

働く女性とそのパートナー

企業／個人

実施項目—実証実験（産婦人科）—

｜ 期間

2～3か月間

｜ モニター

妊婦とそのパートナー

条件

妊娠期間中にプログラムが終了する

プログラム中にパートナーと一緒に空間にいる

｜ 内容

1パンフレットの配布

2産婦人科での説明会の開催

3LINE友達追加～利用

4冊子の郵送

5事前アンケートの実施

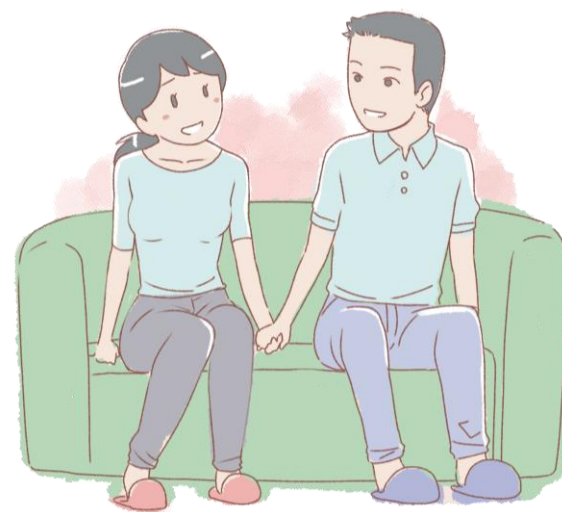
6事後アンケートの実施

7事後インタビューの実施

｜ 評価

アンケート（事前・事後）

インタビュー



実施項目—実証実験（企業）—

｜ 期間

2～3か月間

｜ モニター

社員とそのパートナー

条件

プログラム中にパートナーと一緒に空間にいる

｜ 内容

1パンフレットの配布

2人事担当者によるモニター募集

3LINE友達追加～利用

4冊子の郵送

5事前アンケートの実施

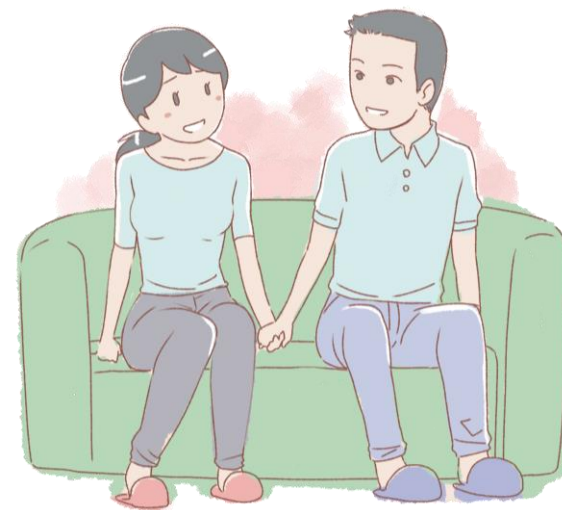
6事後アンケートの実施

7事後インタビューの実施

｜ 評価

アンケート（事前・事後）

インタビュー



事業目標

産後ケアの場合

初期アウトカム 令和5年度末		初期アウトカム 令和5年度末	
定性	定量	定性	定量
パートナーとの関係の改善及び強化	サービス利用前後の ・利用者との会話時間の増加 ・利用者との関係満足度の向上	パートナーとの関係の改善及び強化	サービス利用前後の ・利用者との会話時間の増加 ・利用者との関係満足度の向上
妊娠期間中のメンタル不調の寛解及び増悪の予防	サービス利用前後の ・軽度うつ寛解率の増加 ・軽度うつ増悪率の減少	メンタル不調の寛解及び増悪の予防	サービス利用前後の ・軽度うつ寛解率の増加 ・軽度うつ増悪率の減少
妊娠期間中のパートナーからの情緒的サポート力の向上	サービス利用女性のパートナーの ・情緒的表現頻度の増加 ・傾聴意識の向上率 ・傾聴方法の理解率	パートナーからの情緒的サポート力の向上	サービス利用女性のパートナーの ・情緒的表現頻度の増加 ・傾聴意識の向上率 ・傾聴方法の理解率
妊娠期間中のパートナー物理的サポート力の向上	サービス利用女性のパートナーの ・産後に対するリテラシー向上率 ・サポート意識の向上率 ・サポート時間の増加 ・トラブル時の対応方法理解率 ・アサーション意識の向上率 ・アサーション方法の理解率	パートナー物理的サポート力の向上	サービス利用女性のパートナーの ・月経・PMSに対するリテラシーの向上率 ・サポート意識の向上率 ・サポート時間の増加 ・トラブル時の対応方法理解率 ・アサーション意識の向上率 ・アサーション方法の理解率
妊娠期間中の妊婦のコミュニケーションスキルの向上	サービス利用女性本人の ・アサーション意識の向上率 ・アサーション方法の理解率	コミュニケーションスキルの向上	サービス利用女性本人の ・アサーション意識の向上率 ・アサーション方法の理解率
働く妊婦とパートナーの仕事のパフォーマンス向上	サービス利用前後でのWHO-HPQ 共通指標スコア上昇した妊婦の割合50%	パフォーマンス向上	サービス利用前後でのWHO-HPQ 共通指標スコアが上昇した女性の割合50%

月経・PMS、更年期の場合

実施体制

株式会社きゅあも
株式会社ジャパンイノベーション

Doctor



奥平忠寛
奥平産婦人科医院院長
産婦人科医

伊藤英樹
伊藤クリニック院長
精神科医

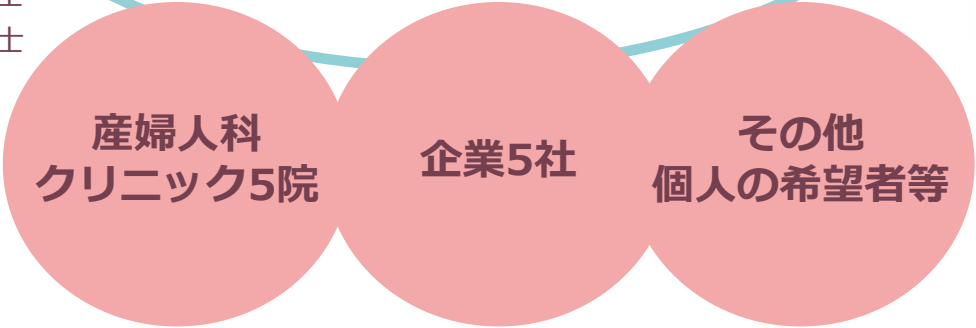
守澤匡平・美也子
臨床心理士
公認心理士



専門スタッフ (面談を担当)



実証先



現状の進捗と成果（11/9時点）

産婦人科事前アンケート回答数

参加人数

82名（41組）



48名（24組）

妊婦のメンタル不調 7名／24名 **29.2%**
(通常約20%)

企業モニター事前アンケート回答数

参加人数

34名（17組）

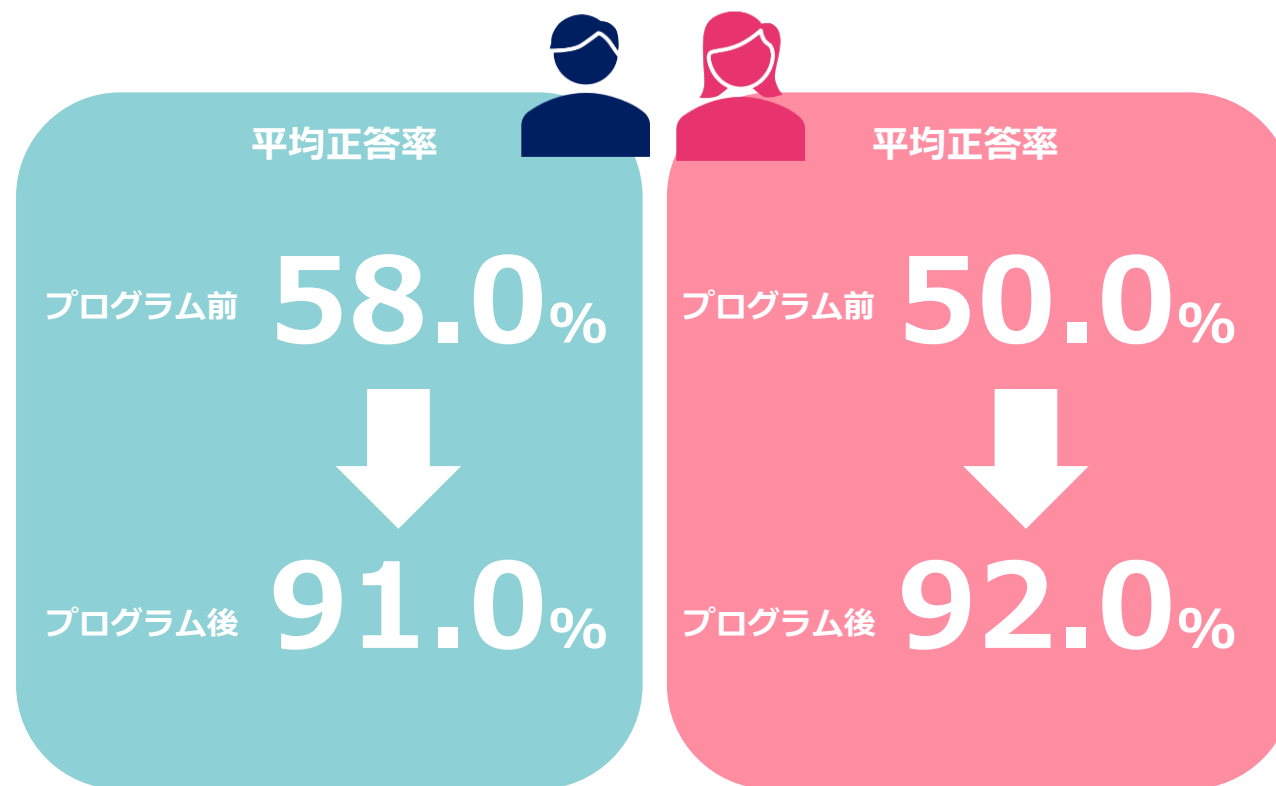


14名（7組）

女性のメンタル不調 0名／7名 **0.0%**

現状の進捗と成果（11/9時点）

プログラムを受け、女性、パートナー共に情緒的サポートスキルが向上



対象：10組の女性とそのパートナー（20名）

方法：WEBテスト（択一式）

測定：事前アンケート内で設問10問に回答

傾聴プログラム終了後事後アンケート内で回答

株式会社きゅあも

現状の進捗と成果（11/9時点）

面談時のヒアリングにて定性的に効果を実感



主語をつけて話すようにしたら夫に要望を伝えやすくなった
習慣的にお互いの話を共有しあう時間を設けるようになった



妻が何を話しているのか理解できるようになった
妻が助けを求めているのが分かるようになった

パートナー側が仕事のパフォーマンスが向上したとの声も上がっている



プログラムで学んだスキルを使用して部下に接していたら、
上司に呼ばれて褒められ、モチベーションが上がった

今後の成果の見通しと展望

【リテラシー】

- 情緒的サポートスキルはプログラム前後で向上した人が**100%**
- 女性のコミュニケーションスキルはプログラム前後で向上した人が**100%**

【面談によるヒアリング】

- 出来事を共有しあう時間を習慣化することで**会話時間が増加**している
- パートナーの傾聴意識があがり、**情緒的サポート力が向上**している
- 女性のコミュニケーションスキルがあがり、パートナーが女性の要望を理解しやすくなることにより、**物理的なサポート意識やサポート時間が増加**している
- **パートナー側のパフォーマンスも向上**している

現段階での課題

| 開発

課題

使用できるパートナーが彼氏や夫、男性に限られている

対応策

ユニバーサルデザインになるように、監修者を入れ改修中

| 実証実験

課題

参加組数の鈍化／参加ハードルが高い

対応策

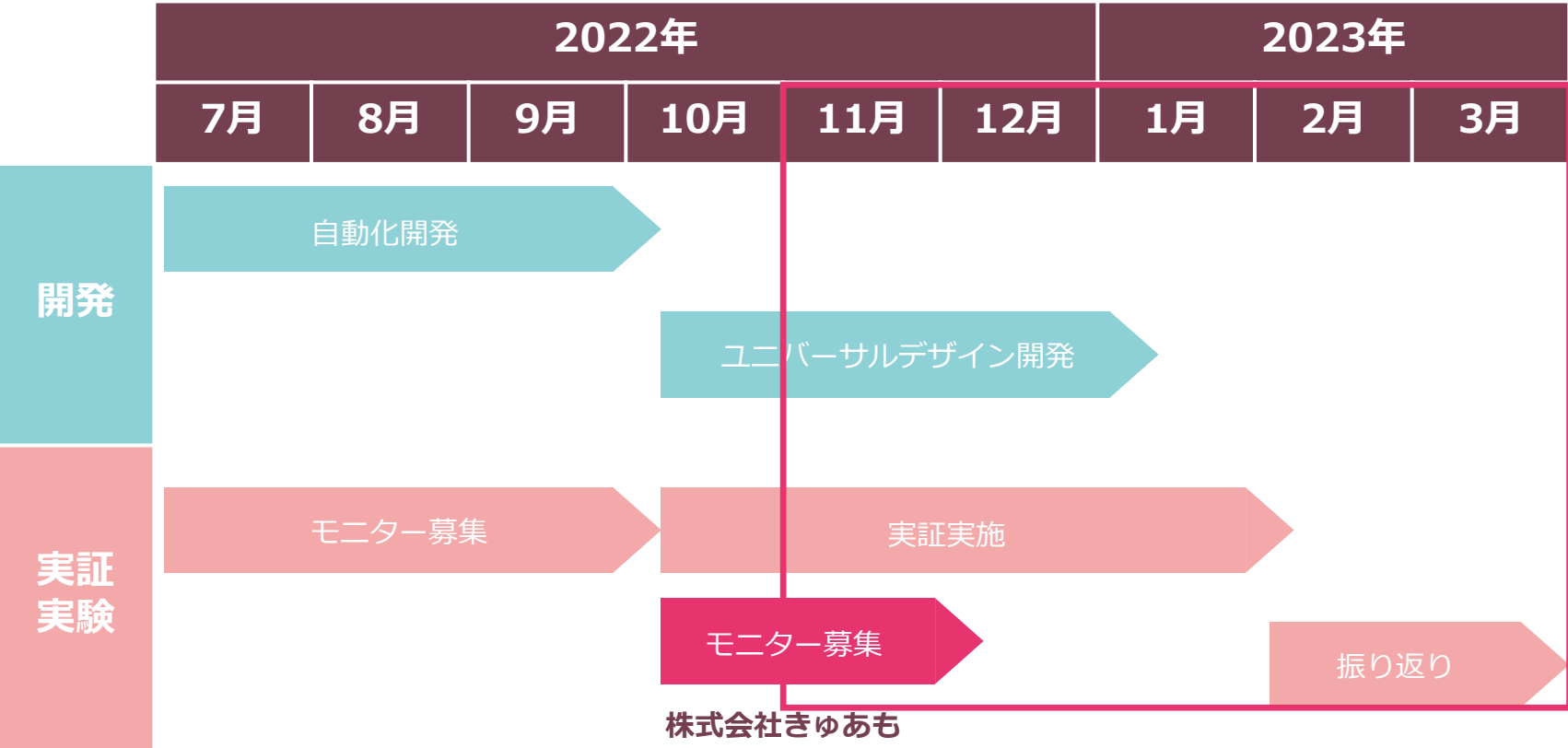
参加企業やクリニック、個人の募集を増やす。スタックユーザーへの声掛け

今後の予定

開発ユニバーサルデザインに向けたコンテンツの改修

実証実験：モニター確保を最優先にし、実証実施を進めていく

（参加企業への営業／クリニックへの声掛け／個人への声掛け／ストックユーザーへの運営側と企業クリニック側での双方の声掛け



今後の展望

- ① 産後うつや産後の症状緩和だけでなく、少子化対策としての効果検証を行います。そのため使用群未使用群との比較対照実験を行い、中長期的に「離婚率」や「1人目から2人目の出生率」等のデータを取得していく予定です。
- ② 不妊治療プログラムを追加し、不妊治療をしている夫婦やカップルの良好なパートナーシップの構築をサポートします。
- ③ 福利厚生サービスと連携し、社員様が福利厚生でご使用いただきやすくいたします。
- ④ 専門医のセミナー等と組み合わせ、フェムテックプランやメンタル不調パフォーマンス向上プランを作成し、企業様の健康経営に貢献いたします。

▼お問い合わせ先

ご興味のある、自治体様、産婦人科様、企業様いらっしゃいましたら、ぜひお声がけいただけましたら幸いです。



会社概要



<設立>

2023年6月2日

<本社所在地>

沖縄県島尻郡伊平屋村字我喜屋217-27
伊平屋村産業連携拠点センター

<代表者>

代表取締役 河村 哲

<資本金/資本準備金合計>

1,000万円

▼ホームページ



▼お問い合わせ先

